

おっぱい通信

—赤ちゃんに優しい病院を目指して—

2017年

4月号

Vol.14

岩手県立磐井病院
母乳推進委員会

～今年BFH認定を目指し、取り組みます～

当院は赤ちゃんに優しい病院（Baby-Friendly-Hospital：BFH）を目指し取り組んでいます。

BFHとは、WHO（世界保健機関）、UNICEF（国連児童基金）が提唱している「母乳育児成功のための10カ条」を長期にわたって遵守し、実践する産科施設のことです。

産後のお母さんはホルモンバランスの影響もあり、物理的にも精神的にも周りからのサポートが受けられないとなかなか継続することができません。

そのため、**病院スタッフ全員でママと赤ちゃんを応援していく必要があります、ご協力を頂きたいと思っております。宜しくお願いします。**



**ポスターは職員玄関・病院入口、
情報コーナーに掲示してます**



今後の予定

- 4月 2週間健診を開始
- 5月 各セクション出張勉強会
- 6月 岩手母乳の会研修会を当院で開催
- 7月 院内研修会予定
- 8月 母乳育児シンポジウム参加と発表（神戸）
- 9月 日本母乳の会ワークショップ（岩手開催）
- 11月 申請の最終確認

12月 BFH申請！！



お問い合わせ

院内の妊婦の皆様、当院での妊婦健診を受けられている方もいない方もぜひおっぱいについて話しましょう！
わからないこと、聞きたいことは是非ご相談を！！



母乳推進委員会

「母乳育児を成功させるための10カ条」
この10カ条は、お母さんが赤ちゃんを母乳で育てられるように、産科施設とそこで働く職員が実行すべきことを具体的に示したものです。

1. 母乳育児推進の方針を文書にして、すべての関係職員がいつでも確認できるようにしましょう。
2. この方針を実施するうえで必要な知識と技術をすべての関係職員に指導しましょう。
3. すべての妊婦さんに母乳で育てる利点とその方法を教えましょう。
4. お母さんを助けて、分娩後30分以内に赤ちゃんに母乳をあげられるようにしましょう。
5. 母乳の飲みませ方を、お母さんに実際に指導しましょう。また、もし赤ちゃんをお母さんから離して取捨しない場合は、お母さんに母乳の分泌維持の方法を教えましょう。
6. 医学的に必要でない限り、新生児には母乳以外の栄養や水分を与えないようにしましょう。
7. お母さんと赤ちゃんが一緒にいられるように、終日、母子同室を実施しましょう。
8. 赤ちゃんが泣き出すときは、いつでもお母さんが母乳を飲ませてあげられるようにしましょう。
9. 母乳で育てている赤ちゃんにゴムの乳首やおしゃぶりを与えないようにしましょう。
10. 母乳で育てるお母さんのための支援グループ作りを助けて、お母さんが退院するときにそれらのグループを紹介しましょう。

ユニセフ（国連児童基金）とWHO（世界保健機関）は、1989年に「母乳育児の保護、促進、そして乳母—産科施設の特徴的な役割」と題する共同声明を発表し、世界のすべての産科施設に対して「母乳育児を成功させるための10カ条」を守るよう呼びかけた。また、1991年には、「10カ条」を完全に実施する産科施設を「赤ちゃんにやさしい施設」に認定する制度を設けた。この制度は、世界のすべてのお母さんを助けて赤ちゃんを母乳で育てられるようにすることによって、すべての赤ちゃんに等しく最高の人生のスタートをというユニセフとWHOの願いを表している。

主催/ユニセフ（国連児童基金） WHO（世界保健機関） 日本母乳の会 後援/厚生労働省